



ひっぴのだより NO.2 2018.4.27

ひっぴに春がやってきました。朝、森に泣き声が響くのも春の光景のひとつです。

先輩お母さんたちも小栗しく感じしていたのではないのでしょうか。

「お母さん探しに行く～」と大人の手を離れながら匠手爾くんも、どんぐりさんの仲間と周回道路をお散歩して笑顔も見られるようになりました。お兄ちゃんとひっぴに通っていた野村花ちゃんも、初めからリラックして遊んでいます。泣いているどんぐりさんがいると顔そのどきで「どうしたの？」と声をかけています。エマちゃんは、テザの果物が大好き。果物が入った缶をみて「おかわり、食べたいな～」「食べていい？」といぶのどきに来ています。水遊び好きの今春ちゃんもたらいに水をまりの泥水を集めたり、魚釣りをしたり、最近では水道を遊ぶのがお気に入り。悠くんは、でんごのひっぴの森を転がりにてく走っています。そして少し高いベンチにも登ってしまいます。悠くと一緒にあという間に走り去って行くのは左真真くん。周回道路を散歩しながらバイガルの事務所の方まで行くとしておおくりさんたちに「えっちは行くのよは～」と遠いかけられています。ところどころにタヌキの顔。ちゃんとおおくりさんたちの声も聞こえていたのです。どんぐりさんが涙で過ぎたのは、ほんの少しの間だけでした。森の中で自分の好きなものや興味のあることを友達と一緒に過ごすしながら見つけています。

えんは、新しい仲間を迎えてスタートしたひっぴです。そしてひとつ大きくなったおおきくおのたたちは、「ひとつ大きくなったからかまばらなちも！」と張りきり今まで変わらずインペスと自然に小さい人へ気を配る人……という感じです。えんは中、今年度初めてののおおきくおの田んぼ保育の時のこと。数日前に羊のりんご母さんが出産をしました。ところがりんご母さんは高年齢出産のため体調が優れません。赤らちゃんもおっぱいを飲むのに一苦労です。子どもたちが赤らちゃんに会いに行くのはりんご母さんにとってストレスになるかもしれません。赤らちゃんのことしんどです。そこでわごさんから今のりんご母さんの状態と赤らちゃん羊の養子を子どもたちに話していただきました。そして木柵越しにこたけ、静かに会いに行くことを提案しました。待ちに待った羊の赤らちゃんです。おんは楽しみで仕方ないはず。でもおおきくおの子どもたちはひとりひとり木柵の前に並んで静かに赤らちゃんを見つめています。羊さんへの思いや早く元気に走りまわってほしいという願いをひびきを声で話していました。

「りんごちゃん！おめでとう！」と喜ぶ気持ちを我慢して、小さな小さな命に気持ちを向けている子どもたちのうしろ姿は、今でも目に焼きついています。

何かが出来ようになるとか、小さい人のお世話をするとか「おおきくおのこと」のひとつではあるだろうけど、未来はこの時にこたけにも羊さんへ気持ちを向けることができおおきくおの子どもたちの目に見えないかき育ちを大切にしていきたいと思います。

1年がスタートして4ヶ月。ちよとこごひと休みのG.W.ゆくり充実したお休みになりたいように……。
：美穂

お知らせ

- ・今年度一回目の保護者会を開催します。ご出席をお願いします。
日時) 5月15日(火) 9時30分～お昼頃まで
場所) バイガルメインホール
・ひっぴだりNo1(4/10配布)と年間計画表をご持参下さい。
・当日はメインホス前ロータリーにも駐車可能です。
- ・5月の森づくり
日時) 20日(日) 9時～お昼頃
・作業内容は黒板にてお知らせいたします。
・帽子・軍手・水筒など、必要に応じて持参下さい。
・黒板に参加者を上げさせていただきます。可能な方は記名をお願いします。
- ・5月(はどんぐり)の個人面談を行います。状況や時期が変動している時期もあり、制は保護者会でお伝えさせていただきます。
- ・まつばら(り)エン～おおくり(り)エンは、いつか必要の時に、お受け付けです。
- ・5月から、ひっぴの森開放日とくらげの日が始まります。ご希望の方は、おんはから、ひっぴホームページにご覧下さい。お知らせ下さい。
- ・7/1～7/1の休け実施日。
7日(月) 8日(火) (10日(水)) 11日(金) 14日(月) 15日(火) 17日(木) 18日(金)
(21日(月)) (23日(水)) 28日(月) 30日(水)
※()は、田んぼ保育予定。開室は、未定です。
◎遅延キャンセルは、おんはから、キャンセルされる場合はご判断下さい。兄弟ともキャンセルされる場合は、別申込みが必要となります。(https://moripippi.jp/pokke/cancel)
- ・おおきくお予定
おんは(り)エン 9日(水) 25日(金)
色の時間 14日(月) 28日(月)
田んぼ 10日(水) 21日(月) (予備日 23日)

🦋 ひろびランテレシピ

今年度は、畑畑で作りとひろびランテの献立の基本的なレシピを交互に連載していきます。でもお伝えしたいことがある月は両方載せていきますね。

ひろびの基本的炊きこみご飯

具材を変えて一年中登場する炊きこみご飯。今日は採れた旬の筍をいれてみましたので、下ゆでして一鍋に煮込ませました。

- ・下ゆでした筍とこんにゃく、人参、油あげは一口大に切っておく。鍋にごま油を熱し、人参、筍、こんにゃく、油あげ...と固いものから順に炒め合わせる。
- ・油がまわったら湯かいておいた熱湯少々と切り昆布、しょうゆ、酒・おろし、塩を入れお好みで味を煮ながら、しばらくおいて味をなじませる。(ひろびランテの時は、前夜に煮てひと晩おいていきます。) この具をご飯を炊く時、ゆづめじ(かお)で炊いたお米の上に乗せて炊く。お米はもち米を混ぜるともちもちとしたお粥風になります。
- ・事前にフライパンで火がついた大豆を一器に入れて炊くと、ゆづり大豆ご飯、切り干し大豆や高野豆腐など戻して草子物を入れてもおいしい。お好みの具でお召し上がりください。

🦋 畑畑で作り

4月16日(A)のおおきくみでは、畑畑で種もみ蒔きをしました。2/1に浸けて小まめに根がらりと顔を出した種もみ。おおきくみさんが土を入れて土にぱらぱら蒔いて、まじほうりさんが土の布田をかいた。さらにもち殻を炭に焼いた、もち殻くん炭を土からかけて(黒いのでおひさまの光を集め、養分にもなります)水を入れた畑畑の苗床に土を並べてビニールをかけて苗床が完成。暑い日が続いたのでもう緑の芽が伸び始めています。3週間前後で苗が植分けしていきます。4月16日畑畑をしまし。2本からの気温によって苗の伸び具合がかわらなくなって、畑畑をえがいておまの直前のおまの世にしておいていきます。どうがご理屈よくいきます。

この日はとりの畑に人参とカブの種もみもして、産まれたばかりのりんごの母の羊のむらめ、春の畑畑を電車の手で植えてからおまの世にしました。1/12の危険な場所を、おおきくみさんがまじほうりさんに教えたあげていきました。

：美和子